

障害者支援施設 障害者福祉センター友愛寮

1 基本方針

思いやりと友愛の心を持って、豊かで心のこもった利用者本位の質の高い福祉サービスを提供するために職員一人ひとりが専門職としての資質向上に努め、安全かつ安心して、楽しく有意義に生活できるよう支援する。

地域との繋がりや共生を重視し、介護・支援を必要とする地域住民等のニーズに応えられるよう各サービスの充実を図る。

2 今年度重点事業目標

(1) 安定的な施設運営の維持及び施設の環境整備に努める。

ア 安定的な施設運営の維持のため、目標稼働率の達成に努める。

目標稼働率 [生活介護：95%、施設入所支援：91%、短期入所：50%]

イ 利用者の高齢化・重度化が進む中、安心・安全で快適な生活を提供するため、施設の環境整備、施設建物の保全に努める。

また、緊急災害時に備え、必要物品の備蓄や施設内防火設備の点検・改修を行い、災害訓練を実施する。さらに、適切な感染症対策を講じることにより、円滑な事業継続ができるよう努める。

ウ 厚和寮との情報共有を図りながら、建て替えの検討を進める。

(2) 利用者の満足度の高いサービス提供に努める。

ア 利用者一人ひとりの日々の生活での要望・ニーズを丁寧に把握し、アセスメントを行うなどにより、課題を整理した上で、各部署が協働して、個別支援計画の充実を図る。

イ 身体障がい者に加え、知的、精神障がい者を有する利用者に対応するため、職員は専門職としての自覚を持って外部研修の積極的な活用などで知識・技術の向上、自己研鑽を図るとともに、チーム力の向上にも取り組む。

ウ 利用者・家族アンケートや業務遂行に係る職員の自己評価の実施により、定期的に提供しているサービスの振り返りを行い、業務改善・向上に努める。

エ 利用者の人権や権利を擁護し、利用者・家族が安心して暮らせるよう、施設全体で虐待防止や権利擁護に向けた取り組みを行い、サービス向上に努める。

また、利用者の意思を尊重しつつ、成年後見人制度の紹介も行う。

オ 個々の咀嚼・嚥下機能に適した食事提供を行い、確実・安全に栄養摂取することができるようにし、季節ごとに、楽しみのある食事提供を行う。

カ 個々の生活意欲や楽しみのある生活に繋がるよう、利用者の心身機能に合わせた個別リハビリに加え、各部署との連携により、日常生活リハビリにも積極的に取り組む。

また、各部署との連携、情報共有した上で補装具、福祉用具を活用し、生活機能の向上に努める。

(3) 医療的ケアの充実を図る。

ア 各部署が連携し、日常の観察と情報の共有を徹底し、利用者の健康管理に努めるとともに、異変の早期対応に努める。

イ 必要な知識と技術向上に努め、有資格者による安心・安全な痰吸引・経管栄養を実施する。

(4) 地域生活の継続と推進を図る。

ア 利用者・家族が安心して地域での在宅生活を継続できるよう、相談支援事業所や地域包括支援センター、各市町村との連携を図り、通所・短期入所等在宅サービスの推進に努める。

イ 地域との意見交換、交流、災害時の福祉避難所など施設機能の地域住民等へ情報提供することにより、地域の福祉ニーズや生活課題の把握に努め、地域社会で必要とされる施設を目指す。